

令和元年11月2日

令和元年度第7回アーバンデザインセミナー実績報告書

(1) 開催日時

令和元年10月19日(土) 10時30分～12時40分

※その後1時間の交流会(自由参加)あり

参加人数: 5名

(2) テーマ

「超珍 ～シビックプライドを育てるガイドのいないまちあるき」

(3) 話題提供者

山本あつし(事業プロデューサー/大阪芸術大学講師)

(4) 話題の概要

● 自己紹介

➤ 「デザインで社会をおもしろく」をテーマに、領域を問わずシビックプライドを醸成する公共のデザインを手がけている。

● 私たちの目線

➤ 間違い絵探しのような要素の込められた短い動画を鑑賞。動画内の風景の変化にどれだけ気づくことができるか各自検証したことで、私たちは実は多くの情報を見過ごしていることが分かった。

➤ まちというのは、よく見なくなると面白くなくなってしまう。

● アウトプット型まちあるき「超珍」

➤ 自ら歩いて町のあらゆる物事を観察し、見つけたものを編集・表現し成果物をつくるまちあるきのこと。

➤ TV番組や人気ガイドツアーにて奈良をガイドする人が奈良出身者ではなかったのを見て、自分たちのまちを自分たち独自の視点で案内できる人材を育てたいと思い、超珍を着想。

● 「超珍」の事例紹介

➤ ならまちで実施した時の事例を中心に紹介。

➤ それぞれの独自の目線で読み解いて伝えることで、何気ない日常の光景であ

っても、面白いスポットになる。

- 位置情報と連動したオンラインマップアプリを利用し、超珍 MAP を作成することもできる。

- 「超珍」開催の手引き

- ① 準備

- 撮った写真はコメントを添えてメール送信するため、ガラケーやスマホやタブレットを用意。
- 歩くエリアと時間（1～3時間）、メールで送る写真の枚数（1～3枚）を決めておく。
- 個人で歩くか、グループ（2～5人）で歩くかも決めておく。
- 撮った写真をメール送信することが困難な参加者がいる場合、代わりに送信してくれる参加者と同じ班にするなど配慮する。

- ② まちあるきへ出発

- 自分の感性で「超珍しい！」と思ったものを撮影する。
- 足元を見たり、見上げたり、いつもと違う視線でよく見てみる。
- 安全に十分配慮することと、撮られる側のプライバシーへの配慮の必要性。

- ③ 投稿

- 撮った写真から「これぞ超珍！」と感じる写真を選定。
- 短いコメントを添えて、決めておいたアドレスにメール送信。

- ④ 珍評会

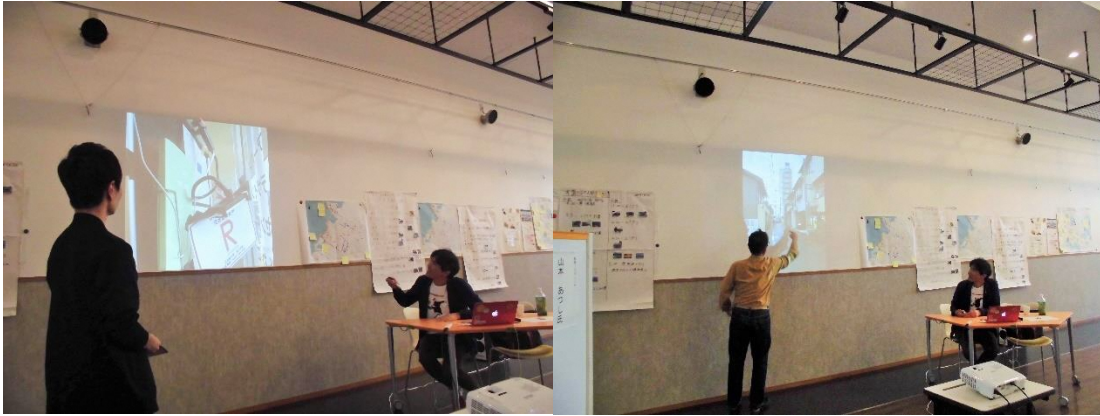
- 参加者が投稿した「超珍」をプロジェクターに映してシェアする。
- 司会者がコメントを読み上げながら1枚1枚紹介する。
- 投稿者に「どこで見つけたの？」などと問いかけ、コミュニケーションをとりながら鑑賞する。



- 「超珍」の目指す世界観
 - 大切なのは、すでにそこにある物事の価値を再確認し、うまくいかすこと。
 - 自らを含めた多様性を認め、それぞれの違いをいかすことができる人を育てることで、ダイバーシティ(多様性)とソーシャルインクルージョン(社会包摂)という価値観の実現を目指している。

(5) ワークショップ

- 参加者が見つけた超珍を鑑賞
 - 店の看板や、なじみの道、美しい風景など、参加者それぞれの目線の超珍を事前にメール送信してもらっていた。
 - さらに講師の呼びかけで、休憩時間に UDCBK 周辺や館内でも超珍探しをした参加者もいた。



- まちとのかかわり方や視点をシェア
 - 超珍を鑑賞しながら、講師が撮影者に様々な質問やコメントを投げ掛けたことによって、撮影者のまちとのかかわり方や視点が見えてきた。
 - ランニングをしながら撮影していたケース、まちの細かな地形に目を向けているケース、独自の創造力を働かせて楽しんでいるケースなどがあった。

(6) まとめ

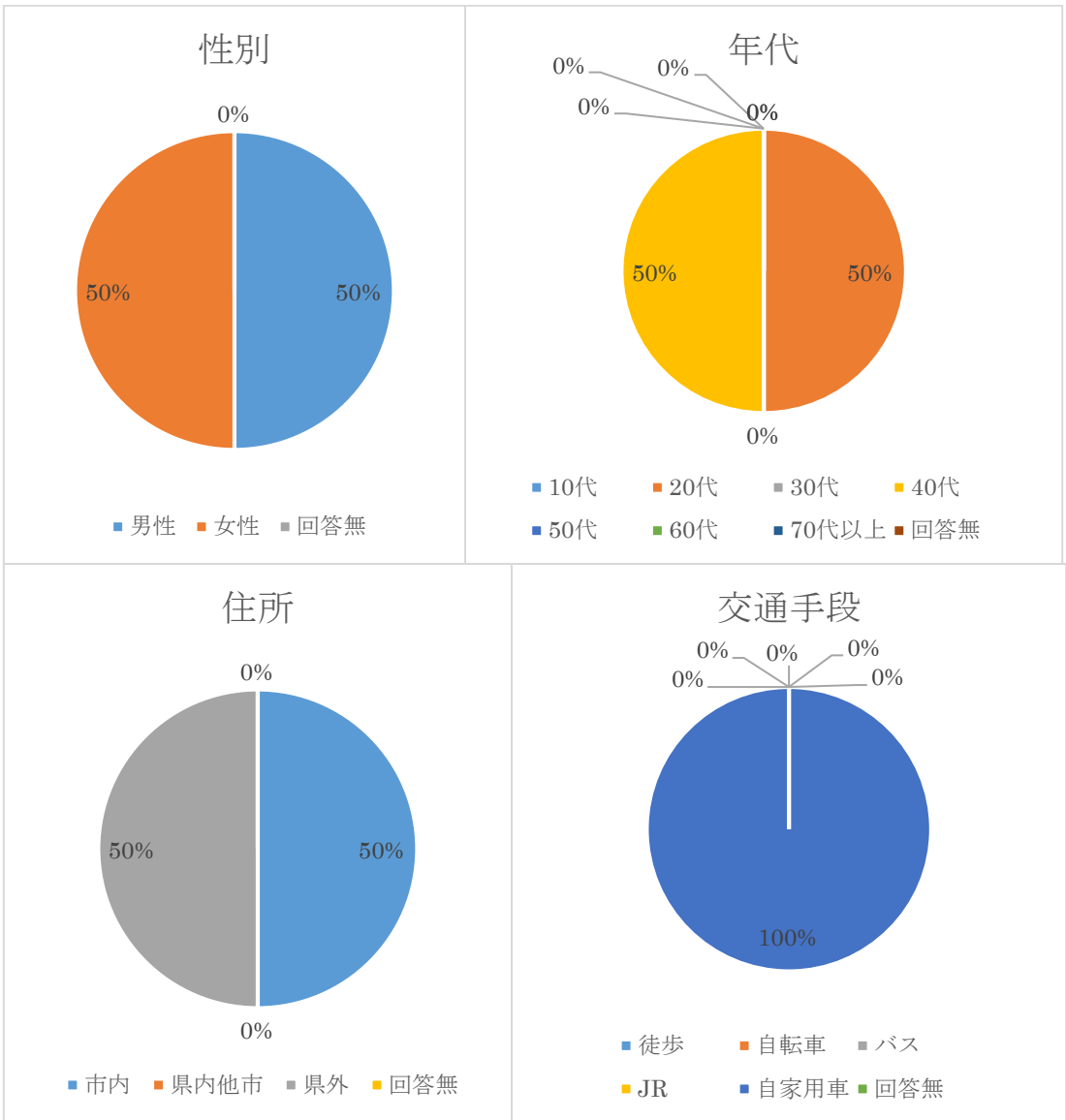
今回のセミナーでは、まちを「じぶんごと」として楽しむ姿勢を学んだ。主体的にまちに目を向ければ、今まで見えていなかった色々なものが見えてくる。それらを実現し、シェアすることは、とても楽しいのだということを体感できた。

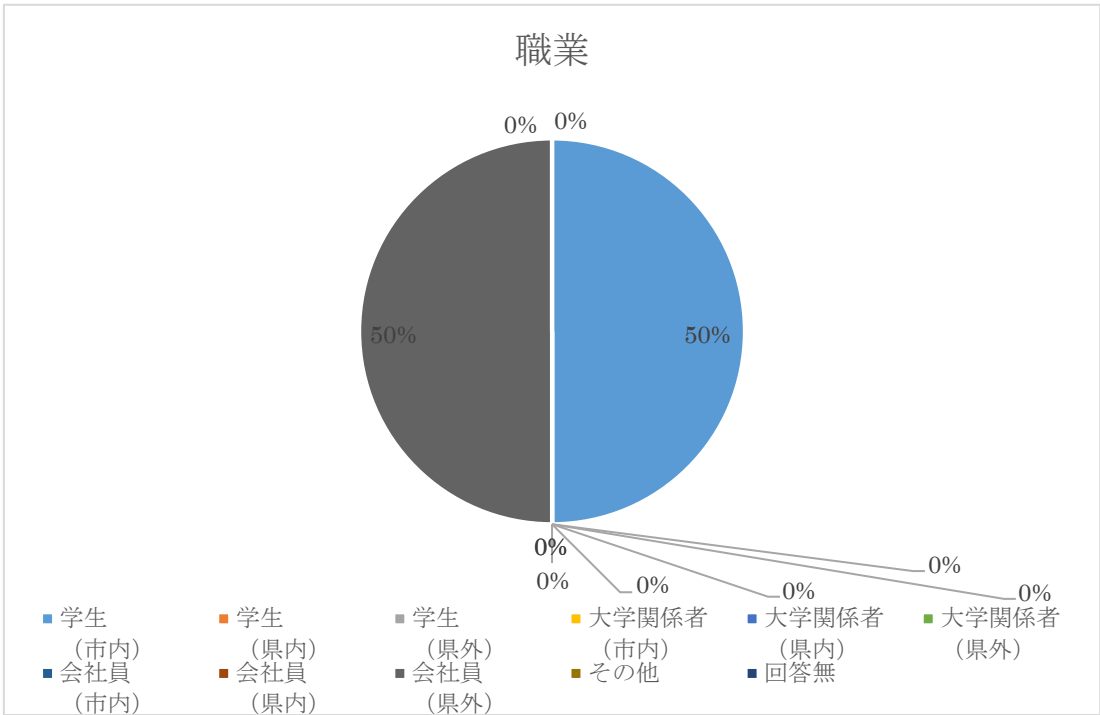
「超珍」探しの視点を持つと、普段まちを歩く際にも日々発見があると思うので、周りの仲間たちとシェアし、共にシビックプライドを育てていくことが期待される。

(7) アンケートまとめ

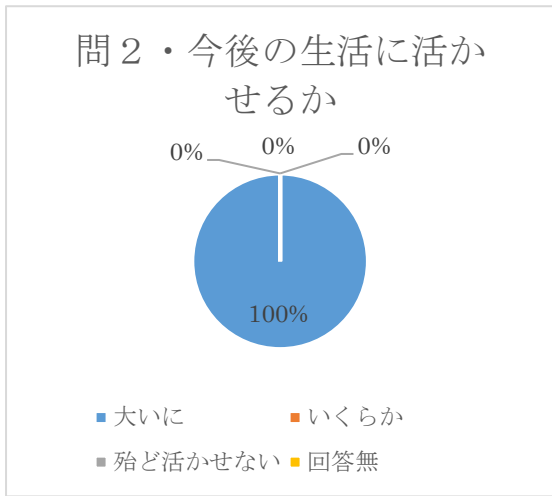
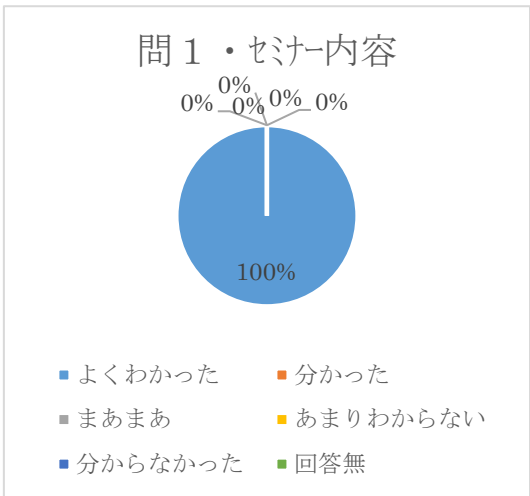
① 参加者属性

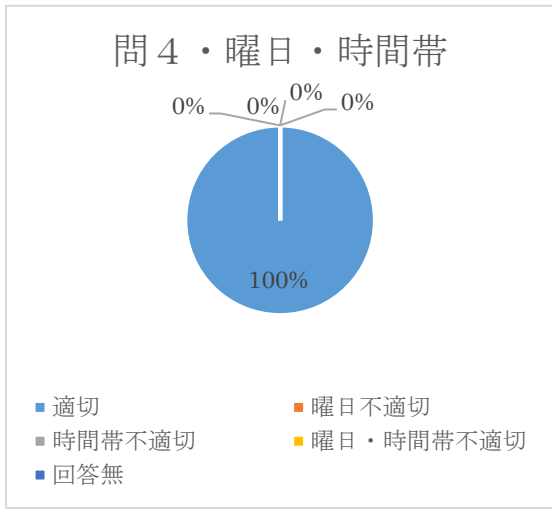
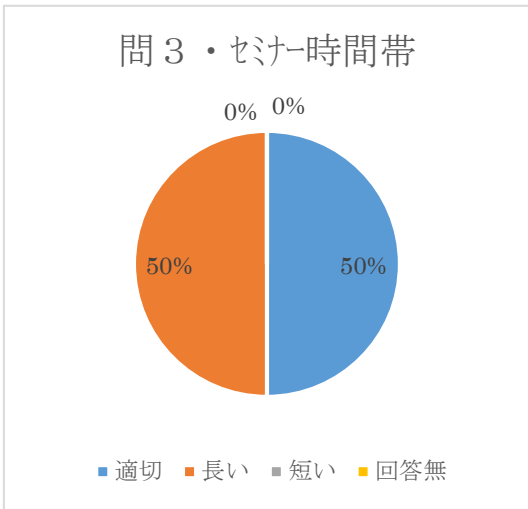
参加者5名のうち、アンケートに回答いただいた方は2名、回答率は40%だった。





② 内容について





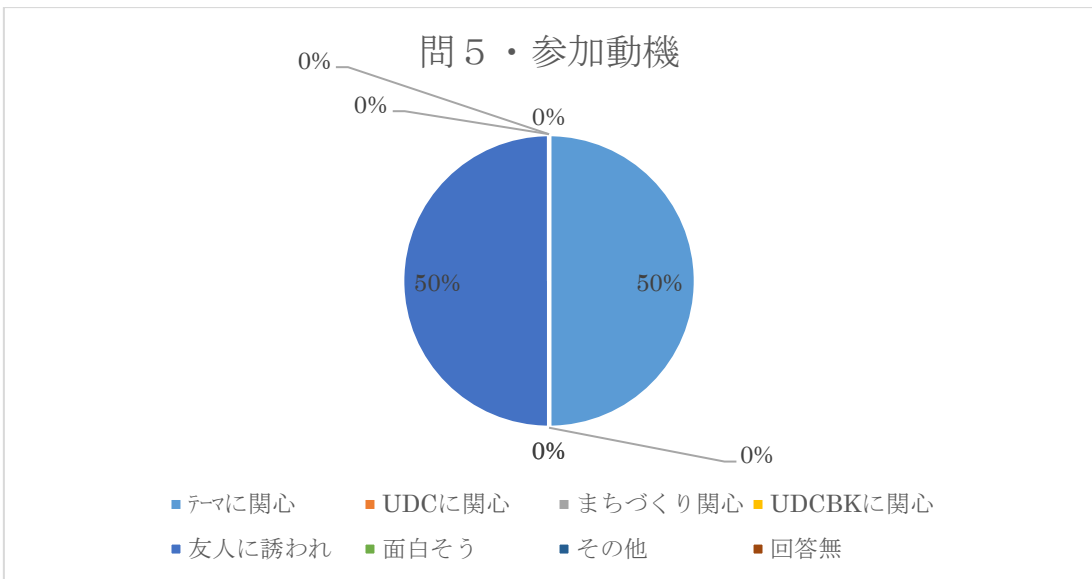
【自由記入欄回答】

問3. 時間はどうでしたか。

なし

問4. 開催曜日、開催時間は適切でしたか。

なし



【自由記入欄回答】

問5. 今回参加した動機についてお聞かせください。それぞれに関心のあるテーマについて御自由に記載ください。

- ・地域ブランディング（20代男性）

【自由記入欄回答】

問6. 今回、印象に残ったこととその理由をお聞かせください。

- ・もっと真剣にまちをみようと思いました（20代男性）
- ・部屋の中でもできるのでコミュニケーションツールとしても使えていい。写真をテーマに、どんなコメントつけるかをみんなで出しあっても楽しそう（40代女性）